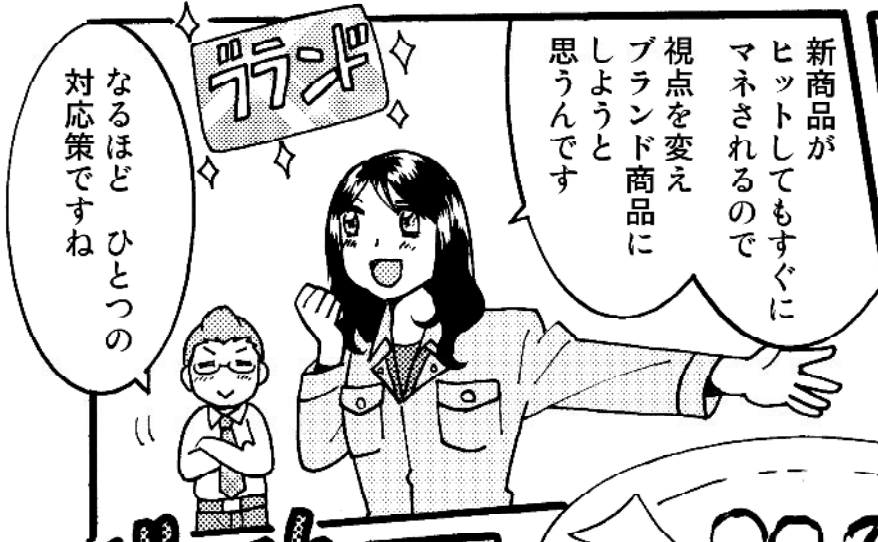


第6話 ブランド商品にしたいんです。



リアリティ追求のため、実在に近い表現を使用しておりますが、作品全体としてこの話はフィクションです



で ロゴとか
デザインは この商品と
ほかの商品が違うことを
分かってもらう
手法なんです

キョウ

ヒキ

ブランドを
作るときの
視点は……

ご存知だと
思いますが
ブランドを作るのは
ロゴやデザインを
つくることじゃ
ないんです

① ブランドコンセプト

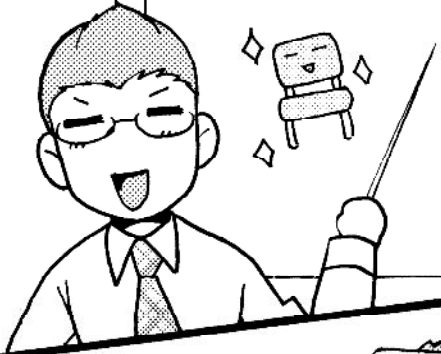
何がブランドなのか

② 突出した特徴

このブランドの売りは？

③ メッセージ

お客さまに響くキーワードは？



等身大の
等身大の

後日

解説



ブランドがあるかどうかは、お客さまが決めることです。お客さまが思い出してくれてはじめてブランドとなり思い出してくれる人が多いほど強いブランドだといえますが、ここにいたるには大変な時間がかかります。また、どのようなイメージで思い出してもらうかも重要です。しっかりとしたブランドコンセプトを作り、それを伝えるための方法としてロゴ、デザイン、メッセージなど目に見えるものにしていただく。注意点としては、強いブランドになるほど目に見えるものはマネをされる危険性のあることです。商標の登録についてもご検討ください。



新しいブランドの
デザイン案です
どうですか？



職人が休日に自分で
使うという本物感
木の優しさを
伝えたいと
思います

これから想いを伝える
商品作りに入ってください

商品の特徴や想いが
伝わりそうですね

うん

うん